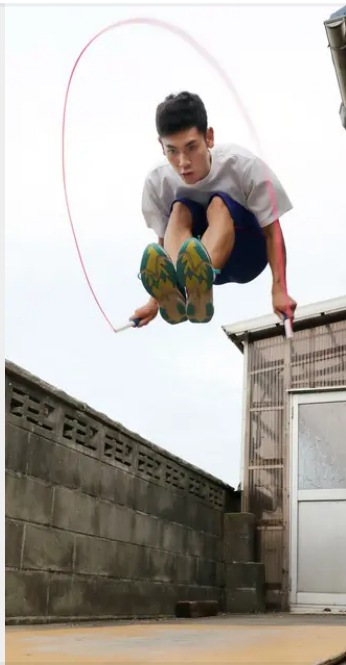


これぞ縄跳び8重跳び！ ギネス記録、山口市の中学生が達成

8/24(木) 15:07 配信 0  

中国新聞 デジタル 



山口市の男子中学生が縄跳びで「8重跳び」を達成し、ギネス記録に認定された。1度の跳躍で縄を8回転させる離れ業で、福井市の20代会社員男性の世界記録を6年ぶりに塗り替えた。運動解析の専門家は「8重跳びがほぼ人間の限界ではないか」と推測している。

[<写真>縄跳びの練習をする日高さん](#)

[自宅で縄跳びの練習をする日高さん](#)

山口市の川西中3年日高（ひたか）煌人（きらと）さん（15）が7月17日に同校体育館で跳び、映像を認定組織に送って認められた。リズムを取った後、膝を曲げて高さ約1・3メートルまで大きくジャンプし、0・8秒の滞空中に手首のスナップを利かせて高速で縄を回している。

小学5年生の時、交差跳びなどが上手な友人を見て「好きな縄跳びをもっと上手になりたい」と決意。帰宅後にほぼ毎日練習するようになり今も続けている。跳躍力には元々自信があり、5重跳びと6重跳びができるようになった小学6年生の時に当時の7重跳びのギネス記録を意識するようになったという。

運動解析に詳しい山口大大学院の坂井伸之教授（スポーツ物理学、宇宙物理学）は「全身の筋力とバランスが極めて優れ、空中で体を前傾させるなど力学的な工夫も凝らして達成している」と驚く。一方、「力学的工夫の余地はあまり残っておらず多重跳びの限界に近づいている」とみる。